

2017. 2. 6

立春が過ぎて、心なしか日ざしが明るくなってきました。田んぼではアカガエルの産卵が始まりました。アカガエルは、冬眠を中断して産卵を済ませるとまた春までひと眠り……。道端にはオオイヌノフグリ、ホトケノザなどの野草が咲いて風はまだ冷たいながらもかすかに春の足音が聞こえてくるようです。



ニホンアカガエルの卵塊



ぽかぽか陽気に誘われて



冬の造形美に感動！



ムラサキシジミ



“飛ぶ宝石” カワセミ



チルチル・・・メジロ



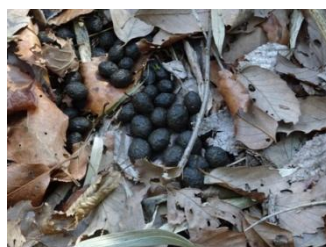
ジョウビタキ・メス



オオイヌノフグリ



ホトケノザ



だれの落とし物？



3月に咲く花

アオイスミレ



シュンランの花芽



芽を出したフデリンドウ

＜季節メモ＞
 真冬に目をさまし、卵を産むカエルがいます。ニホンアカガエルです。浅く流れのない冬水田んぼは産卵に絶好の場所。卵はおよそ1500個の塊です。春、長いひも状のカエルの卵を見つけたとしたらそれはヒキガエルの卵です。アカガエルは産卵を終えるとまた冬眠に戻ります。冬眠を中断しても産卵するのはなぜでしょうね。
 写真・編集：晝間